

浜の活力再生プラン
令和 6 ～ 1 0 年度
第 3 期

1 地域水産業再生委員会

組織名	外津地区地域水産業再生委員会
代表者名	会長 加納 貢章（外津漁業協同組合 代表理事組合長）

再生委員会の構成員	外津漁業協同組合、玄海町農林水産課
オブザーバー	佐賀県水産課、佐賀県玄海水産振興センター

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	玄海町外津地区（外津漁協の地区）2 経営体及び 3 0 名 （内訳：他漁業種との重複あり） ・ 一本釣り 1 4 名 ・ いか釣り 5 名 ・ 魚類養殖 7 名 ・ かき養殖 7 名 ・ 採介 4 名 （令和 5 年 4 月 1 日現在）
-------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

・ 外津地区は、佐賀県東松浦郡玄海町の北部に位置し、玄海国定公園に指定されている屈曲に富んだ海岸線や入江に面している。 ・ 漁場は対馬暖流の影響下にあり、天然礁に恵まれた沖合域ではマダイ、ブリ、ケンサキイカ等の好漁場が形成され、一本釣り、いか釣り等が行われている。沿岸域ではアワビ、ウニ類等の採介が行われている。また静穏海域である外津浦では昭和 4 0 年代には真珠養殖が盛んに行われていたが、その後マダイ、ブリ等の魚類養殖に代わり、平成 2 3 年頃からかき養殖にも取り組まれ現在に至っている。 ・ 令和 4 年の漁業生産量及び額（漁船漁業及び養殖業）はそれぞれ約 1 3 t、約 1 億 4 千万円となっている。 ・ 漁業経営は漁獲量の減少、魚価の低迷、燃油・資材価格の高騰等により厳しさを増している。このため、漁業者数の減少・高齢化、漁業後継者の不在等により、水産業が主産業となっている外津地域の衰退が懸念されている。このため、漁業者は、複合経営として、外津浦の海域特性に適したかき養殖に取り組み、規模拡大や作業の省略化、単価向上を進めている。 ・ 漁場機能を維持するため、漁協は玄海町の補助を受け底質改良剤散布による底質改善に取り組んでいる。また、ガンガゼの食害により藻場が減少して磯近資源の生育場としての機能が低下しているため漁協及び採介業者はガンガゼ駆除に取り組んでいる。 ・ 魚類養殖においては赤潮や魚病の発生による漁業被害対策及び餌料や燃油の高騰対策として、また漁船漁業においては不漁及び燃油高騰の対策として、漁協は漁業共済・漁業経営セーフティネット構築等事業への加入、及び省エネ機器の導入の促進に努めている。
--

(2) その他の関連する現状等

・ 町内の高齢化率は高く、若者は町外流出により減少している。 ・ 企業誘致や住民サービスの充実のため高速大容量通信環境を整備している。
--

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--

(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

1. 漁業収入向上のための取組

(1) 漁業種別の取組

- ① いか釣り漁業者は、漁協とともに販路開拓に努め、活魚出荷を増加する。
- ② 一本釣り漁業者は活魚水槽の適切な管理・運用を実施し、清掃と点検を徹底して行い、魚の死滅を抑え、活魚出荷量の増加を目指す。
- ③ 採介漁業者は、藻場の保全を目的としたガンガゼ等の駆除活動と、底質改善を目的としたナマコの放流等を実施する。また、藻場保全活動の効果をみながら、アカウニを放流してアカウニの生産量向上を目指す。
- ④ 魚類養殖業者は、ふるさと納税でのさらなる販売量向上に努める。
- ⑤ 漁業者は、複合経営として静穏な外津浦の海域特性を活用したかき養殖に前期プランに引き続き取り組む。また、さらなる生産性の向上と出荷の効率化のために、脱貝機や洗浄機を活用し、種苗導入時期や養殖方式について検討をする。
さらに、漁業者は、ECサイトを活用した販売にも取り組む。

(2) 海業

漁協及び漁業者は、青年部を立ち上げ、地域の名物となるような加工品の開発に取り組む。完成した加工品は地域の催し等で販売する。

2. 漁業コスト削減のための取組

(1) 減速航行及び船底清掃の実施

漁協は漁業者に省燃油対策として10%減速航行を継続して指導し、漁業経費の削減を図る。それに加えて、漁業者は定期的な船底清掃を実施し、漁業経費の削減を図る。

(2) 省燃油型機関への換装

漁協は漁業者に省燃油対策として機関換装時に省燃油型機関への換装を進め、漁業経費の削減を図る。

(3) 漁業用燃油及び養殖用餌料の高騰対策

漁協は、定期的に漁業者の漁業経営セーフティネット構築等事業への加入を進め、高騰対策に励む。

さらに、漁協は漁業経営セーフティネット構築等事業の効果的な活用のため、漁業者の計画的な積立を促す。

3. 漁村の活性化のための取組

(1) 漁業人材育成確保

- ① 関係漁業者、漁協、町及び県は、国の新規就業者支援事業等を活用し、漁家子弟や地域外から新規就業者の受入態勢を整備する。
- ② 漁業者は、新規就業者に対して技術や知識の伝承をする。
- ③ 町は、本地区に移住し新規就漁を希望する人とのマッチングイベントへ参加して新規就漁者を確保する。

(2) 地域人材育成・雇用確保

町の事業である玄海町第一次産業補助金、玄海町親元就漁事業、玄海町漁業次世代人材投資事業による補助で雇用確保に繋げる。

(3) 交流人口の拡充

漁協、漁業者、及び町は、HP, SNS, YouTubeを活用して漁村地域の魅力を積極的にPRする。

(4) 女性活躍の促進（女性部を中心とした取組）

- ① 女性の視点を取り入れた加工品の開発等を支援する等、女性の参画を推進する。
- ② 美しい漁村の街並みを維持するために漁港周辺の清掃活動。
- ③ 地域の催しで鯛の塩焼きやイカ焼きなどに出展する。

(3) 資源管理に係る取組

- ・佐賀県漁業調整規則
- ・漁場行使協定（地先の共同漁業権は他漁協と共有しており、各共有者の操業統数、操業区域、操業期間等を決めた漁場行使協定書を交わしている。）
- ・集魚灯の光力制限（いか釣り：自主規制）

(4) 具体的な取組内容

1 年目（令和 6 年度） 所得向上率（基準年比） 7. 8 %

漁業収入向上のための取組	(1) 漁業種別の取組 ① いか釣り漁業者は、漁協とともに販路開拓に努め、活魚出荷を増加する。 ② 一本釣り漁業者は活魚水槽の適切な管理・運用を行い、魚の死滅を抑え活魚出荷量の増加を目指す。 ③ 魚類養殖業者は、養殖魚各種や貝類の詰め合わせをふるさと納税で販売する。 ④ 採介漁業者は、ガンガゼ等駆除活動の効率化のために潜水土免許を取得する。また、ナマコの放流を実施する。 ⑤ 漁業者は、カキの生産量向上のために、種苗導入時期を見直すため、一部の種苗については、例年よりも導入時期を遅らせる。さらに、脱貝機と洗浄機の活用により作業を効率化する。 ⑥ 漁業者がECサイトを活用した販売取り組むために、漁協は講習会を開催する。 (2) 海業 漁協と漁業者で、漁協青年部を立ち上げる。
漁業コスト削減のための取組	(1) 減速航行及び船底清掃の実施 漁協は漁業者に減速航行と定期的な船底清掃を指導する。 (2) 省燃油型機関への換装 漁協は機関換装時に省燃油型機関への換装を進める。 (3) 漁業用燃油及び養殖用餌料の高騰対策 漁協は漁業者の漁業経営セーフティネット構築等事業（燃油）の未加入者に加入を進め、漁業経営セーフティネット構築等事業（餌）については計画的な積立を促す。
漁村の活性化のための取組	(1) 漁業人材育成確保 町及び漁協は、国、佐賀県が開催するマッチングフェアに積極的に参加し、新規就業者の確保を推進する。 さらに、漁業者から新規就業者に対する技術や知識を伝授できる場を町と漁協で設ける。 (2) 地域人材育成・雇用確保 町は、新規就漁者や漁業者、漁協に町の事業である玄海町第一次産業補助金、玄海町親元就漁事業、玄海町漁業次世代人材投資事業を周知して雇用確保に繋げる。 (3) 交流人口の拡充 漁協、漁業者及び町は、HP,SNS,YouTube等を活用して漁村地域の魅力を積極的にPRする。 (4) 女性活躍の促進（女性部を中心とした取組） 漁協女性部は、女性の視点を取り入れた加工品の開発等を支援する等、女性の参画を推進する。また、女性部で実施している清掃活動や地域イベントへの加工品の販売を継続し、地域の活性化に寄与する。

活用する支援措置等	・玄海町第一次産業補助金（放流）（町） ・玄海町漁業次世代人材投資事業（町） ・玄海町親元就業者支援事業（町） ・漁業経営セーフティネット構築等事業（国） ・水産多面的機能発揮対策事業（ガンガゼ駆除）（国） ・競争力強化型機器導入緊急対策事業（機関換装）（国）
-----------	---

2年目（令和7年度） 所得向上率（基準年比）10.1%

漁業収入向上のための取組	（1）漁業種別の取組 ① いか釣り漁業者は、漁協とともに販路開拓に努め、活魚出荷を増加する。 ② 一本釣り漁業者は活魚水槽の適切な管理・運用を行い、魚の死滅を抑え活魚出荷量の増加を目指す。 ③ 魚類養殖業者は、養殖魚各種や貝類の詰め合わせをふるさと納税で販売する。 ④ 採介漁業者は、潜水器を活用したガンガゼ等駆除活動に取り組む。また、ナマコの放流を実施する。 ⑤ 漁業者は、カキの生産量向上のために、種苗導入時期を見直すため、一部の種苗については、例年よりも導入時期を遅らせる。さらに、脱貝機と洗浄機の活用により作業を効率化する。 ⑥ また、漁業者がECサイトを活用した販売取り組むために、漁協は講習会を開催する。 （2）海業 漁協青年部で、他市町の事例等を参考に活動を開始する。
漁業コスト削減のための取組	（1）減速航行及び船底清掃の実施 漁協は漁業者に減速航行と定期的な船底清掃を指導する。 （2）省燃油型機関への換装 漁協は機関換装時に省燃油型機関への換装を進める。 （3）漁業用燃油及び養殖用餌料の高騰対策 漁協は漁業者の漁業経営セーフティネット構築等事業（燃油）の未加入者に加入を進め、漁業経営セーフティネット構築等事業（餌）については計画的な積立を促す。
漁村の活性化のための取組	（1）漁業人材育成確保 町及び漁協は、国、佐賀県が開催するマッチングフェアに積極的に参加し、新規就業者の確保を推進する。 さらに、漁業者から新規就業者に対する技術や知識を伝授できる場を町と漁協で設ける。 （2）地域人材育成・雇用確保 町は、新規就漁者や漁業者、漁協に町の事業である玄海町第一次産業補助金、玄海町親元就漁事業、玄海町漁業次世代人材投資事業を周知して雇用確保に繋げる。 （3）交流人口の拡充 漁協、漁業者及び町は、HP,SNS,YouTube等を活用して漁村地域の魅力を積極的にPRする。 （4）女性活躍の促進（女性部を中心とした取組） 漁協女性部は、女性の視点を取り入れた加工品の開発等を支援する等、女性の参画を推進する。また、女性部で実施している清掃活動や地域イベントへの加工品の販売を継続し、地域の活性化に寄与する。

活用する支援措置等	・玄海町第一次産業補助金（潜水器具・放流）（町） ・玄海町漁業次世代人材投資事業（町） ・玄海町親元就業者支援事業（町） ・漁業経営セーフティネット構築等事業（国） ・水産多面的機能発揮対策事業（ガンガゼ駆除）（国） ・競争力強化型機器導入緊急対策事業（機関換装）（国）
-----------	--

3年目（令和8年度） 所得向上率（基準年比）12.5%

漁業収入向上のための取組	（1）漁業種別の取組 ① いか釣り漁業者は、漁協とともに販路開拓に努め、活魚出荷を増加する。 ② 一本釣り漁業者は活魚水槽の適切な管理・運用を行い、魚の死滅を抑え活魚出荷量の増加を目指す。 ③ 魚類養殖業者は、養殖魚各種や貝類の詰め合わせをふるさと納税で販売する。 ④ 採介漁業者は、潜水器を活用したガンガゼ等駆除活動に取り組む。さらに、ガンガゼ等駆除活動の効果発現のために、近隣漁場の他漁協と連携した活動としていく。また、ナマコの放流を実施する。 ⑤ 漁業者は、カキの生産量向上のために、種苗導入時期を見直すため、一部の種苗については、例年よりも導入時期を遅らせる。さらに、脱貝機と洗浄機の活用により作業を効率化する。 ⑥ 漁協、漁業者及び町は、カキの生産性向上と業務の効率化を目指し、シングルシードの導入を検討する。 ⑦ 漁業者はECサイトを活用して、漁獲物を販売する。 （2）海業 漁協青年部で、継続して活動する。地域の名産品になるような加工品等の開発を検討する。
漁業コスト削減のための取組	（1）減速航行及び船底清掃の実施 漁協は漁業者に減速航行と定期的な船底清掃を指導する。 （2）省燃油型機関への換装 漁協は機関換装時に省燃油型機関への換装を進める。 （3）漁業用燃油及び養殖用餌料の高騰対策 漁協は漁業者の漁業経営セーフティネット構築等事業（燃油）の未加入者に加入を進め、漁業経営セーフティネット構築等事業（餌）については計画的な積立を促す。
漁村の活性化のための取組	（1）漁業人材育成確保 町及び漁協は、国、佐賀県が開催するマッチングフェアに積極的に参加し、新規就業者の確保を推進する。 さらに、漁業者から新規就業者に対する技術や知識を伝授できる場を町と漁協で設ける。 （2）地域人材育成・雇用確保 町は、新規就業者や漁業者、漁協に町の事業である玄海町第一次産業補助金、玄海町親元就漁事業、玄海町漁業次世代人材投資事業を周知して雇用確保に繋げる。 （3）交流人口の拡充 漁協、漁業者及び町は、HP,SNS,YouTube等を活用して漁村地域の魅力を積極的にPRする。 （4）女性活躍の促進（女性部を中心とした取組） 漁協女性部は、女性の視点を取り入れた加工品の開発等を支援する等、女性の参画を推進する。また、女性部で実施している清掃活動や地域イベ

	ントへの加工品の販売を継続し、地域の活性化に寄与する。
活用する支援措置等	・玄海町第一次産業補助金（放流）（町） ・玄海町漁業次世代人材投資事業（町） ・玄海町親元就業者支援事業（町） ・漁業経営セーフティネット構築等事業（国） ・水産多面的機能発揮対策事業（ガンガゼ駆除）（国） ・競争力強化型機器導入緊急対策事業（機関換装）（国）

4 年目（令和 9 年度） 所得向上率（基準年比） 1 4 . 8 %

漁業収入向上のための取組	（１）漁業種別の取組 ① いか釣り漁業者は、漁協とともに販路開拓に努め、活魚出荷を増加する。 ② 一本釣り漁業者は活魚水槽の適切な管理・運用を行い、魚の死滅を抑え活魚出荷量の増加を目指す。 ③ 魚類養殖業者は、養殖魚各種や貝類の詰め合わせをふるさと納税で販売する。 ④ 採介漁業者は、潜水器を活用したガンガゼ等駆除活動に取り組む。さらに、ガンガゼ等駆除活動の効果発現のために、近隣漁場の他漁協と連携した活動としていく。また、ナマコ及びアカウニ等の放流を実施する。 ⑤ 漁業者は、カキの生産量向上のために、種苗導入時期を見直すため、一部の種苗については、例年よりも導入時期を遅らせる。さらに、脱貝機と洗浄機の活用により作業を効率化する。 ⑥ 漁協、漁業者及び町は、カキの生産性向上と業務の効率化を目指し、シングルシードの導入について準備を進める。 ⑦ 漁業者はECサイトの活用を継続し、漁獲物を販売する。 （２）海業 漁協青年部で、継続して活動する。地域の名産品になるような加工品等の開発を検討する。
漁業コスト削減のための取組	（１）減速航行及び船底清掃の実施 漁協は漁業者に減速航行と定期的な船底清掃を指導する。 （２）省燃油型機関への換装 漁協は機関換装時に省燃油型機関への換装を進める。 （３）漁業用燃油及び養殖用餌料の高騰対策 漁協は漁業者の漁業経営セーフティネット構築等事業（燃油）の未加入者に参加を進め、漁業経営セーフティネット構築等事業（餌）については計画的な積立を促す。
漁村の活性化のための取組	（１）漁業人材育成確保 町及び漁協は、国、佐賀県が開催するマッチングフェアに積極的に参加し、新規就業者の確保を推進する。 さらに、漁業者から新規就業者に対する技術や知識を伝授できる場を町と漁協で設ける。 （２）地域人材育成・雇用確保 町は、新規就漁者や漁業者、漁協に町の事業である玄海町第一次産業補助金、玄海町親元就漁事業、玄海町漁業次世代人材投資事業を周知して雇用確保に繋げる。 （３）交流人口の拡充 漁協、漁業者及び町は、HP,SNS,YouTube等を活用して漁村地域の魅力を積極的にPRする。

	(4) 女性活躍の促進（女性部を中心とした取組） 漁協女性部は、女性の視点を取り入れた加工品の開発等を支援する等、女性の参画を推進する。また、女性部で実施している清掃活動や地域イベントへの加工品の販売を継続し、地域の活性化に寄与する。
活用する支援措置等	・玄海町第一次産業補助金（放流）（町） ・玄海町漁業次世代人材投資事業（町） ・玄海町親元就業者支援事業（町） ・漁業経営セーフティネット構築等事業（国） ・水産多面的機能発揮対策事業（ガンガゼ駆除）（国） ・競争力強化型機器導入緊急対策事業（機関換装）（国）

5 年目（令和 10 年度） 所得向上率（基準年比） 17. 1 %

漁業収入向上のための取組	(1) 漁業種別の取組 ① いか釣り漁業者は、漁協とともに販路開拓に努め、活魚出荷を増加する。 ② 一本釣り漁業者は活魚水槽の適切な管理・運用を行い、魚の死滅を抑え活魚出荷量の増加を目指す。 ③ 魚類養殖業者は、養殖魚各種や貝類の詰め合わせをふるさと納税で販売する。 ④ 採介漁業者は、潜水器を活用したガンガゼ等駆除活動に取り組む。さらに、ガンガゼ等駆除活動の効果発現のために、近隣漁場の他漁協と連携した活動としていく。また、ナマコ及びアカウニ等の放流を実施する。 ⑤ 漁業者は、カキの生産量向上のために、種苗導入時期を見直すため、一部の種苗については、例年よりも導入時期を遅らせる。さらに、脱貝機と洗浄機の活用により作業を効率化する。 ⑥ 漁業者は、カキの生産性向上と業務の効率化を目指し、シングルシードを導入する。 ⑦ 漁業者はECサイトの活用を継続し、漁獲物を販売する。 (2) 海業 漁協青年部で、継続して活動する。地域の名産品になるような加工品等の開発を検討する。
漁業コスト削減のための取組	(1) 減速航行及び船底清掃の実施 漁協は漁業者に減速航行と定期的な船底清掃を指導する。 (2) 省燃油型機関への換装 漁協は機関換装時に省燃油型機関への換装を進める。 (3) 漁業用燃油及び養殖用餌料の高騰対策 漁協は漁業者の漁業経営セーフティネット構築等事業（燃油）の未加入者に加入を進め、漁業経営セーフティネット構築等事業（餌）については計画的な積立を促す。
漁村の活性化のための取組	(1) 漁業人材育成確保 町及び漁協は、国、佐賀県が開催するマッチングフェアに積極的に参加し、新規就業者の確保を推進する。 さらに、漁業者から新規就業者に対する技術や知識を伝授できる場を町と漁協で設ける。 (2) 地域人材育成・雇用確保 町は、新規就漁者や漁業者、漁協に町の事業である玄海町第一次産業補助金、玄海町親元就漁事業、玄海町漁業次世代人材投資事業を周知して雇用確保に繋げる。

	(3) 交流人口の拡充 漁協、漁業者及び町は、HP,SNS,YouTube等を活用して漁村地域の魅力を積極的にPRする。 (4) 女性活躍の促進（女性部を中心とした取組） 漁協女性部は、女性の視点を取り入れた加工品の開発等を支援する等、女性の参画を推進する。また、女性部で実施している清掃活動や地域イベントへの加工品の販売を継続し、地域の活性化に寄与する。
活用する支援措置等	・玄海町第一次産業補助金（放流）（町） ・玄海町漁業次世代人材投資事業（町） ・玄海町親元就業者支援事業（町） ・漁業経営セーフティーネット構築等事業（国） ・水産多面的機能発揮対策事業（ガンガゼ駆除）（国） ・競争力強化型機器導入緊急対策事業（機関換装）（国）

(5) 関係機関との連携

・イカ畜養技術、かき養殖技術、アカウニの放流場所等について、漁業者は県玄海水産振興センター等の指導を受ける。 ・養殖業と貝類との詰め合わせセット、養殖カキのネット販売において、漁協及び漁業者は玄海町及び県玄海水産振興センター等と連携して取り組む。 ・ガンガゼ駆除については、玄海町及び県環境・生態系保全対策地域協議会と連携を取り、推進する。
--

(6) 取組の評価・分析の方法・実施体制

浜プランの取組の成果を評価・分析するため、委員会は外部専門1名を委嘱し、毎年度末（3月）に開催する会員会議において、委員会事務局が策定した自己評価案に外部専門家による評価意見を付した浜プラン評価案を審議・決定し、次年度の取組の改善等につなげる。

4 目標

(1) 所得目標

漁業者の所得の 向上10%以上	基準年	
	目標年	

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

アカウニ及びナマコの水揚量	基準年	平成 3 0 年度～令和 5 年度の 5 中 3 平均： 192 (kg)
	目標年	令和 1 0 年度： 201 (kg)
新規就業者数の増加	基準年	平成 3 0 年度～令和 4 年度 5 中 3 平均： 0.4 (人/年)
	目標年	令和 6 年度～1 0 年度平均： 1 (人/年)

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

【アカウニ及びナマコの水揚量】

藻場の保全や放流等のより組みにより、資源量が増えると期待できるアカウニ及びナマコについて、採介漁業者のアカウニ及びナマコの水揚量の合計値を目標として設定することとし、基準水揚量は、平成30年度～令和4年度の5中3平均とした。毎年1%ずつ、5年間で5%の水揚量向上を目指す。（下表参照）

	H30	R1	R2	R3	R4	基準年 (5中3)	1年目 R6	2年目 R7	3年目 R8	4年目 R9	5年目 R10
ナマコ	10	110	190	310	190						
アカウニ	182	50	4	0	0						
合計 (kg)	192	160	194	310	190	192	193	195	197	199	201

※漁協より聞き取り。

【新規就業者数の増加】

過去の新規就業者数は、平成30年度：1人、令和元年度：0人、令和2年度：0人、令和3年度：0人、令和4年度：1人（5年累計2人）となっている。

令和6年度以降の目標として、主に員外従事者に対して漁協加入を促進し、毎年度1人の新規就業者の増員（累計5人）を図る。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
玄海町第一次産業振興事業補助金（町）	・ガンガゼ等の駆除活動を効率的に実施するために、潜水器具を導入する。 ・ナマコ及びアカウニ等の放流を実施する。
玄海町次世代人材投資事業（町）	・事業開始後の新規就業者（長期研修事業終了後若しくは正組員）の自立を促す。
外津地区水産用冷凍庫整備事業（冷凍庫）（町）	・共同利用施設（冷凍庫）を新設する。
玄海町親元就業者支援事業（町）	・親元就業を行う者に支援金を交付し、漁業者数の減少を防ぎつつ新たな漁業者を確保する。
漁船専業・担い手確保対策事業（町）	・地域外から新規就業者の受入態勢を整備する。
水産多面的発揮対策事業（国）	・藻場を回復させるため、原因となっているガンガゼを駆除する。 ・その他、環境保全活動を実施する。
漁業経営セーフティネット構築等事業（国）	・漁業経営セーフティネット構築等事業に加入し、燃油高騰に対する緩和を図る。
省燃油活動推進事業（国）	・減速航行及び船底などの清掃により漁業コストの削減を行う。
競争力強化型機器導入緊急対策事業（国）	・省エネ型機器の導入により漁業コストの削減を行う。